

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
イベントプロデュース2											
対象	4年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	45	単位	1
担当教員	川口 比呂樹			実務経験	有	職種	コンテンツプロデューサー				
担当教員紹介											
出版社での編集・営業職、株式会社サイバーエージェントの出版関連子会社での営業・広報職・芸人や作家の出版イベント企画運営責任者等の経験を経て、C&R社に入社。作家エージェント事業を立ち上げて、コンテンツの電子化や海外版ローカライズ・舞台化・コミック化などを担当する中で、作家及び文化人のイベントを企画運営など実施。コンテンツプロデュース系の授業を担当。											
授業概要											
人生100年時代、第四次産業革命といわれる状況下で、「個人」には、自らのキャリアプランに応じて、多様な「学びの場」や「活躍の場」を自ら選択し、自らを高め続けることが求められている。それには、専門性に加え、「社会人基礎力」を身に付けて行くが必要です。人生100年時代の社会人基礎力として（1）他者との関わり的重要性（2）マインドセット／主体性／仕事観（3）キャリア・オーナーシップ（4）リーダーシップについて学び、理解し、実行し続けていく力を身に付ける。											
到達目標											
前期は、就職活動に向けて、後期は、就業した会社で、また、社会人・国際人として、必要な知識やノウハウを、グループワークを通して学ぶ。 ・自身の仕事観、キャリアプランを自身で考え、実行する意志を持つ ・自分の考えをまとめ、第三者にもわかりやすく伝えられるプレゼン能力を身につける ・様々な意見や考えを客観的に整理・分析して、チームで共通の提案にまとめていくことができる能力を身につける。 ・多様化する社会にあって、社内外の海外の方とも最低限のコミュニケーションが取れる語学力とコミュニケーション力を身につける。											
授業方法											
グループワークを基軸とした座学授業で「レクチャー」「グループワークディスカッション」「プレゼンテーション」のサイクルで授業を実施する。グループワークでは内容によってコースでメンバーを揃えたりばらしたりする。											
成績評価方法											
授業貢献	25%	プレゼンテーションにて積極的に準備・発表したか									
授業参加	25%	グループワークにてどれくらいの熱意をもって参加したか									
課題	50%	課題の内容									
履修上の注意											
グループワークとプレゼンテーションではほかのメンバーとの連携が必要なので、無断欠席や遅刻はもちろんのこと報告・連絡・相談の「報連相」をしっかりと行う事。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価対象から外れる。											
教科書教材											
内容に応じて資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	現在の社会の状況、社会から求められている人材像を理解する										
第2回	現段階での自身の仕事観、キャリアプランをまとめる①										
第3回	現段階での自身の仕事観、キャリアプランをまとめる②										
第4回	個人ワーク、グループワークを通して、自身のいきたい業界やつきたい職種について理解を深める①										
第5回	個人ワーク、グループワークを通して、自身のいきたい業界やつきたい職種について理解を深める②										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
イベントプロデュース2	
第6回	グループワークを通して、企業研究の仕方やチームビルディングの手法を学ぶ
第7回	グループワークを通して情報収集の方法と分析の手法を学ぶ
第8回	グループワークを通してプレゼンとその評価方法について学ぶ①
第9回	グループワークを通してプレゼンとその評価方法について学ぶ②
第10回	グループワークを通してプレゼン資料作成について学ぶ①
第11回	グループワークを通してプレゼン資料作成について学ぶ②
第12回	グループワークを通してプレゼン準備について学ぶ①
第13回	グループワークを通してプレゼン準備について学ぶ②
第14回	グループワークを通してプレゼンとその評価方法について学ぶ①
第15回	グループワークを通してプレゼンとその評価方法について学ぶ②